



▲シルバー人材センターの活動状況

高齢者就労 暮らしに安心と余裕

答弁：高齢者の仕事、検討



牛房良嗣 議員

牛房 七千四百人の高齢者がおられる。知恵も経験も豊かな人生の円熟期にある人たちで、この人たちが地域のために頑張ってもらえる仕組みづく

りが行政には大事である。健康づくりが国家的な役割であることは十分わかるが、高齢者が働く職場の確保も積極的にやっていくべきである。いち早くシルバー人材センターを立ち上げてあるが、広報を通じて大々的にPRするなど、もっと行政としてバックアップする体制をとるべき。

町長 元気で長生きして頂くことが町にとっては有難い。施策については、どう展開ができるか勉強していきたい。
牛房 ただ健康だけでなく、収入がないのは悲惨なもの、ある程度の収入があるという事も大事なことである。高齢者の方たちに、夢と希望を与える提案をさせていただいた。



堤久美子 議員

内水対策

自然災害の対策は

答弁：情報を収集検討する

堤 局地的な大雨で城戸一帯が冠水した。内水対策は図られたか。
地域整備課長 宇美川放流口までの間など内水対策工事として2ヶ所かさ上げ工事も含め1億9、000万円。

堤 合併しようとしまいと、単独であろうと、心豊かなコミュニティのま

堤 地域防災計画に町民の生命、身体及び財産を災害から守ろうとたわわっている。その対策に取り組んでいただきたい。
町長 できるだけのことは今している。情報を収集しながら今後検討。

ちづくりへの住民意識と行動を高めていただく必要がある。
町長 地方分権の時代、少子・高齢の時代を迎えて、今までの体制、体質では行政運営はできない。自分たちの地域をよくしていこうとする協働のまちづくりにお力添えをいただきたいと住民皆様方に出かけて説きたい。



▲8月11日、大雨で冠水した城戸付近のようす



▲建設中のリサイクルセンター



吉住龍太郎 議員

出資割合は

両町で対等で平等に

答弁：まだ協議していない

吉住 両町のリサイクルプラザへの補助金は年間宇美町が3、900万円、志免町が1、800万円出しているが、両町に差があることに對して町長の見解は。
町長 一部事務組合のこ

とです。詳しく答えることはできかねる。
生活環境課長 現在、志免町は不燃物の分別業務を行っている。障害者の方が働いておられる。
人件費とほか管理費用等で1、800万円、宇美町の分については他町のことで詳しくいう立場ではない。
吉住 今建設中のリサイクルセンターに関する資金も対等に出してあると

思うが、両町が合併した場合対等な補助金を出すように望む。
町長 まだ両町で協議はしていない。意見として聞いておきたい。

医療費抑制

後発医薬品の推進で

答弁：検討してみたい



助村千代子 議員

助村 医療費の抑制の短期の対策は、ジェネリック医薬品を奨励することで抑制できると思う。すでに健康保険組合で取り組みがなされ、効果

が上がっている。
町長 まず住民の方にジェネリック医薬品の認識を変えてもらう努力をすること。
医療費の抑制効果があるなら、医師会との関係も考慮し、単町だけでなく町長会でも検討したい。

発達障害への環境作り
答弁：啓発を行っている
助村 発達障害という病気に気づき理解をす

いう事は、学習や啓発がないと難しい。
そして周りも無知であってはならない。
保護者や広く住民にも発達障害を理解する取り組みが必要。
福祉課長 発達障害児の方が将来に向って地域の中で生活していく上で住民の理解は大変必要。
発達障害児の方への理解を求める啓発は行っている。



▲普及を推進するカード